

発行：ひたちなか市の環境を良くする会  
 会長 小川 和 昭  
 編集：広報委員会  
 監修：ひたちなか市環境政策課  
 TEL：029-273-0111 (内3312)

# 環境から版

## 多良崎城跡公園内・篠刈り活動

2010年から行っている多良崎城跡公園内の篠刈り活動は、コロナ禍の影響で2年ぶりの活動になり、12月10日に再開しました。

天気にも恵まれて、公園内 二の郭奥の場所を参加者10名で篠竹約100本を刈り取りました。

今年度2回目の活動は、2月25日に前回と同じ場所を参加者10名で行い、篠竹約150本を刈り取り、倒木を集め整理しました。

お昼ごろには小雨がばらつき、少し寒さを感じる中での篠刈り活動になりました。

5月には公園内で自然観察会を計画しています。



←篠刈り作業  
↓参加者の皆さん



15 陸の豊かさを守ろう



14 海の豊かさを守ろう



## 那珂湊漁港 宝物拾い活動

那珂湊漁港にプラスチック類を含む多くのごみ等が捨てられていて、海洋汚染にも繋がりがねないので、宝物(ごみ)拾い活動を2019年から行っています。

漁港の堤防近くには「ゴミ捨て禁止」の看板が設置してありますが、草むらの中にレジ袋に入れられたごみ、空き缶、発泡スチロール箱の切れ端、粗大ごみなどが捨てられています。

2月24日に参加者7名で宝物拾いを行いました。

前日の小雪混じりの雨も上がり、晴天に恵まれても寒さを感じながらの宝物拾い活動になりました。

拾った宝物は、燃やせるごみ62kg、燃やせないごみ15kg。

宝物拾い活動のネットワークは、活動を重ねるごとに広がっています。

**宝物 拾えば 拾った分 地球はキレイになる！**

丁寧に宝物拾い →  
拾った宝物を前に↓



## 総会の案内

4月13日(土)  
 10:00～  
 12:00  
 ワークプラザ勝田  
 研修室2にて令和  
 6年度の総会を開催します。



## アースデイ ウバ! Hitachinaka 2024 開催

4月20日(土)8:30～15:00 姥の懐マリンプールにて「Love Earth Day」によるアースデイ イベントが開催されます。世界のアースデイ(地球のために行動を起こす日)に合わせたイベントでビーチクリーン、磯遊びやシーカヤック等の自然体験、飲食店の出店、保護犬の譲渡会なども行います。当日、本会では活動を知っていただくためのブースを設けます。「Love Earth Day」は、環境活動が認められ脱炭素チャレンジカップ 2024 において優秀賞、マクドナルドオーディエンス賞を受賞しました。(脱炭素チャレンジカップは、脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、優れた取組を表彰している全国大会です。)

## 子どもたちにきれいな通学路を！



会員のKさんは、日常生活の中で環境への取り組みとしてごみ拾い活動を行っています。近年の活動の様子取材しました。

会員のKさんは、長年自宅近くの通学路のごみ拾い活動を毎週行っています。

通学路には、歩道と車道の端に点々とたばこの吸い殻、コンビニ食品の包装プラスチック、紙コップ、マスク、そしてティッシュなどが捨てられています。

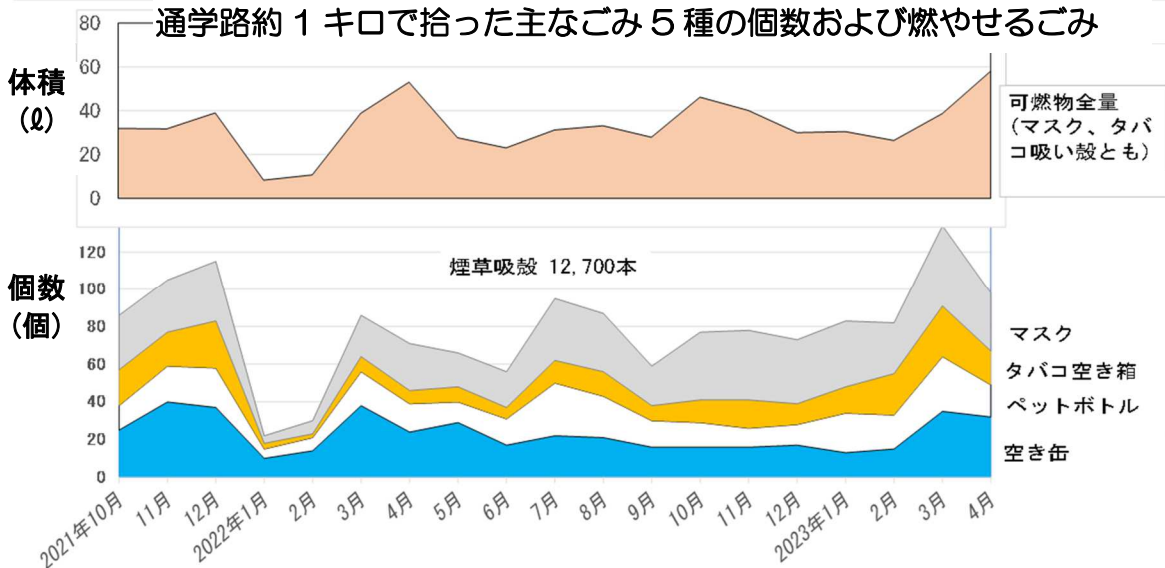
地区の人達も、子どもたちが日々登下校の時に、ごみのないきれいな道を行けるようにしておきたいと考えています。

下図は、小学校に近い通学路で一年半の間に拾った、毎月の燃やせるごみの量と、空き缶、ペットボトルなどの数を示します。

ごみ全体の量は、時期によって変動しています。2022年1月、2月のごみが少なかったのは、厳寒の時期と新型コロナウイルス感染拡大した時期が重なっています。

ごみのないきれいな通学路を、子どもたちが登校しながら「おはようございます！」と元気に挨拶し、通学路で交通安全指導をしている人も笑顔で「行ってらっしゃい」と見送りま

す。私たち市民が「ひたちなか市まちをきれいにする条例」を守り、子どもたちが気持ちよく通学できる道路にして、美しいサステナブルな街にしていきましょう。



### 若者の意識が環境を良くする一歩

勝田工業高等学校生徒会長 上金 勇輝

勝田工業高校では、定期テスト終了後、運動部員約百五十名と生徒会が一丸となって通学路の清掃を行っています。そして、ただごみを集めて捨てるのではなく、キャンパスなどしっかり分別し、環境への配慮を心がけています。

この活動をすることで、少しずつですが地域の環境はもちろん、若者の意識にも大きな影響を与えているのではないかと思います。実際、私も地域清掃を行うごとに通学路に落ちているごみを意識することが増えています。さらにごみの分別も意識するようになり、例えば飲み終わったペットボトルをただプラスチック用のごみ箱に捨てるのではなく、キャップ、ラベル、水洗いしたペットボトルの三つに分けて捨てるなどを意識するようになりました。このような経験から、普段やらない地域清掃など地域のごみ拾いをする中で、ごみに対しての意識や関心を高め、そこから学生など若者のポイ捨てが減り、分別してごみ箱に捨てるという環境に対する良い循環ができるのではないかと思います。

私達はお世話になっている地元ひたちなか市に感謝を忘れず、地域清掃活動を運動部だけでなく、全校生徒と連携して行い、少しでも若者の意識を高めることへ貢献していきたいと考えています。



清掃活動の様子

# 令和5年度 森林保全活動

本会は、森林保全を目的に、次の活動を行っています。

- ① 美田多町風致地区の竹林保全
- ② 多良崎城跡公園の篠竹刈り

竹林保全は、14年間継続して、毎年10月から翌年の3月の期間に活動を行っています。



チェーンソーで間伐作業  
見通しが明るくなりました!

間伐した竹を2〜3mに細断し、枝葉を落として山道脇に積み上げて保管します。これらの竹の中から80cmに切断して4分割したものを竹炭用にします。ドラム缶製の窯を使用し竹炭や竹酢液を作り、イベント等に提供しています。また、竹細工品として、キャンドル立て、竹ぼっくり、ブンブンゴマ、青竹踏み、花器等を作り活用しています。

今年度から、間伐竹の有効活用として、小型チップ加工機を購入し、加工した竹チップを山道に播き下草の抑制が可能になりました。

多良崎城跡公園の篠竹刈り活動は、篠竹繁茂による荒廃を防止するために14年目になります。

下草刈りや倒木の整理・集積を行い、刈り取った篠竹は、近隣の方が



細断作業→  
参加の皆さん



農作業用に使用しています。

参加者は、運動不足解消に向けて健康的に体を動かし、竹と格闘する中で汗をかき楽しみながら森林保全活動を行っています。

## 環境シンポジウム 2024

2月10日ひとちなか市文化会館で、市主催による環境シンポジウムが開催されました。

環境保全啓発ポスターコンクール表彰式の後、市内の小・中・義務教育学校、高校、茨城高専による環境活動事例の紹介がありました。

中根小・夏休み中、児童の一人ボランティア。無駄を減らす活動。

前渡小・ほたるの森(学校じオトープ)での自然観察や体験学習。

田彦中・中学生が環境に取り組み意義を考察。エアコンの効率よい使い方の

調査・給食残渣の堆肥化・企業にスローレス牛乳の提案。

美乃浜学園・スカシユリの復元活動と沢田湧水地の水量の維持。

佐和高・海岸清掃。今後はゴミの減量と再利用を検討。

茨城高専・干し芋残渣堆肥の悪臭の主原因物質は酢酸であると分析。牡蠣殻と活性炭により臭気抑制の効果が大。

最後に、茨城大学原口弥生教授による講評がありました。



環境活動事例の紹介  
田彦中

### 環境よもやま 4コマ

“ふりかけ論争”

兵庫県川西市の給食の白米が残るからふりかけを持参してるん

中学生がね

グッドアイデア

ためめ、ふりかけね!

ふりかけをかけることで塩分オーバーになっちゃうから献立に苦労してる側からするとなんでふりかけ許可してるんだってことらしい

なるほど

おかずをたいて白米が残ったら食品ロスになるふりかけをかけたら塩分オーバーになるし……

マシ、マシはんとおかず交互に口にはふりかけ

家庭での食育が食品ロスをふせぎます



## 段ボールコンポスト講習会 参加者の声

7月の段ボールコンポスト講習会に参加した親子から、その後の様子を教えていただきました！

### 小学校5年生 紗愛(さえ)さん

主に、母がコンポストの管理をしています。たまに、私が生ごみを入れてかき混ぜています。白いカビが生えたり、虫がわいたりしていないため、見た目の変化は特にありません。

3人家族で生ごみが少ないため、生ごみが微生物に分解されるスピードも速いのかなと思います。

### お母さん

段ボールコンポストを玄関の片隅に置いて、様子を観察しています。驚くことに、生ごみの臭いが全く気になりません。

毎日必ずかき混ぜたり、生ごみを入れたりしなくてもOKなので、自分のライフスタイルに合わせて、のんびりと時間をかけてコンポストを育てているところです。



生ごみを入れてかき混ぜる様子



## 休耕地の有効活用

美田多町の休耕地を借用して、ソバ、ジャガイモ、タマネギの栽培を行いました。

ジャガイモは、8月に植え付けたので、暑さで腐らないように種芋は切らずに丸ごと植えました。一株に大小合わせて8個くらいのジャガイモが収穫でき、12月に新ジャガを味わいました。

今年、初めてチャレンジしたホームタマネギは、土が合わなかったのか、肥料が足りなかったのか、あまり大きくなりませんでした。

ソバは約96kgの実を収穫し、一週間ほど干して乾燥させ93kgとなり、来年の播種用に3kgを残して製粉に出し、69kgのそば粉ができました。早速、そば打ちをしてみたところ、そば粉が乾燥し過ぎていたようで生地がひび割れてしまいました。水を多めにして打ち直したところ、うまくできました。ソバの実の乾燥具合は…来年度の課題です。



脱穀作業



ソバの実を96kg収穫



## ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所</p> <p>インクジェットヘッド ドットライブラリック</p> <p>ひたちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>	<p>Bio Power</p> <p>木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田</p> <p>ひたちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341</p>	<p>廃棄物の中間処理施設</p> <p>KATSUTA</p> <p>株式会社 カツタ</p> <p>ひたちなか市高野 1968-2 TEL(029)270-3711代 http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>KOMATSU</p> <p>コマツ 茨城工場 ひたちなか市長砂 163-46 http://www.komatsu.co.jp/</p>	<p>はなのあ幼稚園 Hanano Kindergarten</p>	<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ!</p> <p>のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 ※日立製作所水戸事業所</p>
<p>HiKOKI</p> <p>工機ホールディングス(株)</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.mams-garden.com/</p> <p>プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/</p>	<p>人と自然への思いやりを大切に 勝田環境 KATSUTA KANKYO</p>	<p>マルハニチロシーフーズ株式会社</p> <p>ひたちなか市和田町3丁目13400番地2</p>	<p>社会福祉法人 新世会 いこい苑</p>	<p>ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町103-2 TEL(029)265-5371</p>